

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

枕崎市
教育委員会

中学校2年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力, 判断力, 表現力等】

- 学習課題を解決するため, 結果の見通しをもって必要な実験方法を企画し, 安全に気を付けて実験することができる。また, 結果をもとに考察し, 図や言葉を用いて説明することができる。

【学びに向かう力, 人間性等】

- 化学反応式を用いて解決する課題に関心を持ち, 進んで課題を解決しようとする。

○ 工夫した点

- 構成する原子が少なく, 化学反応式をもとに実験の手順や見通しをもたせることが比較的容易な物質 (NaClOとHCl) の反応について化学反応式をもとに考えさせ, 結果を確かめるために必要な実験方法を, 生徒同士の対話を通して企画させ, 生徒主体で企画に基づいた実験を行わせる。
- 授業支援ソフト (ロイノート) を活用し, 各班の実験の企画や結果をもとにした考察を可視化し, 全体で共有する。

今までの授業では…

【学習課題】

次亜塩素酸ナトリウム水溶液と塩酸を混ぜたら, どのように反応するだろうか。

- 生徒A: 塩酸と金属と反応させた時に水素が発生したから, 同じように水素が発生するのかな。
- 生徒B: それぞれに塩素原子が含まれているから, 塩素が発生するのかな。
- 先生: **ここに準備してある器具を使って, 班で協力して実験を始めてください。**

先生: **今日は次亜塩素酸ナトリウム水溶液と, 塩酸を混ぜる実験をします。**
どのような結果になるか, 予想してみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると!

【学習課題】

2つの物質を混ぜると, どんな反応が起こるだろうか。



個に応じた
見通しの支援



個での試行錯誤や
協働の選択



解決した課題の
共有



振り返り



新しい問いの発見

子供が自ら問いを発見する

- 先生: **私たちの生活に身近な2つの水溶液です (提示)。**
- 先生: **2つを混ぜた時, どんな反応をするでしょうか。**

- 生徒A: 次亜塩素酸ナトリウム水溶液は漂白剤で使われているね。強いアルカリ性だよ。
- 生徒B: ラベルに「**まぜるな危険**」と書いてあるけど, どうやって調べればよいか。

子供が解決の方法を見通す

- 先生: **これまで学習したことを使って, 解決する方法を考えてみよう。**
- 生徒A: 化学反応式を書いてみたらどうなるかな。
$$\text{NaClO} + 2\text{HCl} \rightarrow \text{NaCl} + \text{H}_2\text{O} + \text{Cl}_2$$
- 先生: **化学反応式から何が分かるか話し合ってみよう。**
- 生徒B: 塩素が発生するから, 危険だね。
- 生徒C: 食塩や水もできるね。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す, 協働する

- 先生: **分かったことをもとに, 実験の計画を立て, ロイノートで共有します。**
- 生徒A: 塩素は水に溶けやすい性質で, 空気より少し重いから, 下方置換法で集めるといいね。
- 生徒B: 2つの水溶液を試験管の中で混ぜて反応を確かめるといいね。集気びんが必要だよ。
- 生徒C: 2つの水溶液を混ぜた液を少しとってガスバーナーで熱したら, 食塩が出てくるはずだよ。
- 先生: **実験の結果と考察を説明してください。**
- 生徒A: 集気びんに薄い黄緑色の気体が集まりました。色やにおいから, 塩素だと思います。
- 生徒B: 混ぜた水溶液を熱したら, 白い個体が出てきました。食塩だと思います。
- 先生: **塩素は, インクの色が消えることで確かめることができます (演示実験)。**
- 先生: **今日の学習で学んだことや, 身に付けたことなどを振り返りましょう。**
- 生徒A: 化学反応式をもとに結果を予想し, 準備することで安全に実験できることが分かりました。
- 生徒B: **他の水溶液でも実験して確かめてみたいです。**

子供が自らの学びを振り返り, 次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

南さつま市
教育委員会

中学校3年
国語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

他者の思いや考えなどを理解したり、自分の思いや考えを伝えたりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。

○ 工夫した点

- 初発の感想で生徒の出した考えたい、知りたいなど様々な疑問から、教師主導にならないように、生徒が吟味した上で自分の考えを表現できる、また、多様な読みができる課題を提示する。
- 言葉で読んだり、書いたりすることを苦手とする生徒にとっても自分の考えを書くことができるような思考ツールを活用させ、支援する。

今までの授業では…

【学習課題】 片時も忘れることのなかった故郷と離れるわたしが、「名残惜しい気はしない」のはなぜだろうか。

- 先生：今日は5の場面での学習をします。これまでの学習で20年ぶりの故郷、20年前の閩土や現在の閩土などについて読んできましたね。5の場面ではわたしはどんな気持ちで故郷を離れますか。
- 生徒A：名残惜しい気はしないと書いてあります。
- 先生：そうだね。では、今日はこの学習課題について考えていきます。それでは5の場面を読んでいきましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

子供が自ら問いを発見する

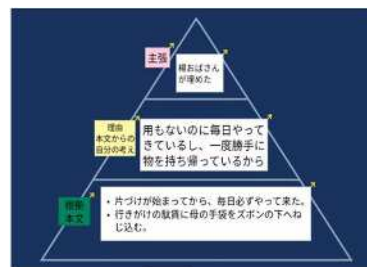
【学習課題】

灰の山にわんや皿を10個余りを埋めたのは誰だろうか。

子供が解決の方法を見通す

個に応じた見通しの支援

個での試行錯誤や協働の選択



解決した課題の共有

振り返り

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

- 先生：5の場面でのみなさんの疑問はなんでしたか。
- 生徒A：わたしが故郷を離れようとしているとき、楊おばさんが灰の山からわんや皿を掘り出してきて閩土が埋めたことになったことです。
- 生徒B：本文にはあれこれ議論の末、結論になったとありました。本当に閩土が埋めたのでしょうか。
- 先生：それでは、「灰の山にわんや皿を10個余りを埋めたのは誰なのか。」について意見を書いてみよう。ただし、なんとなくそう思うのではなく本文を根拠にして理由付けまで考えよう。
- 先生：自分の考えをまとめるワークシートや、思考ツールもあるので自分が考えやすい方法を使ってください。
- 先生：記述できたらロイロノートの提出箱に提出してください。ただし、テキストの色を指定します。閩土はピンク、楊おばさんは黄色、その他は水色にしてください。参考にしたい人は参考にしてください。自分と同じ、違うそれぞれの意見を見て自分の意見を補強しても、考え直してもいいですよ。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

- 生徒A：あっ〇〇さんも同じ意見だ。どんな根拠か聞いてみよう。
- 生徒B：意見はあるけれどどんなふうにかいたらいいかわからないな。同じ意見の〇〇さんの書き方を見てみよう。
- 先生：それでは、みんなの最終意見を共有しましょう。
- 先生：今日の学びを振り返ってみましょう。（共有ノートで可視化する。）
- 生徒A：登場人物の言動や、そこに見られる考え方についてどう読み取るかで意見はまったく違いました。
- 生徒B：〇〇さんの根拠を聞いてそんな読み方もあるのかと気づきました。
- 先生：次の時間もたくさんみなさんの読み方、考え方を知りたいですね。

私は灰の山に碗や皿を埋めたのは楊おばさんだと思う。なぜなら楊おばさんは以前手袋を行きがけの駄駄として勝手に持ち帰っているからだ。このようなことをする人は繰り返すのではないかと考える。毎日必ずやって来ていたので埋める時間もあつたはずだ。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

出水市
教育委員会

中学校2年
英語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

- ・ 比較表現や受け身に関する事項を理解できる。
- ・ 比較表現や受け身などの意味や働きの理解を基に、日本文化や自分の町について、情報や考え、気持ちなどとともに話して伝える技能を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

台湾の人に日本文化や自分の町に興味をもってもらえるように、聞き手を引き付ける情報や自分の考え、気持ちなどとともに話して伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

台湾の人に日本文化や自分の町に興味をもってもらえるように、聞き手を引き付ける情報や自分の考え、気持ちなどとともに話して伝えようとする。

○ 工夫した点

- 必然性のある言語活動を通して学習の有用性を生徒に感じさせるために、目的・場面・状況を明確にした単元目標を設定した。
- 台湾の中学生と実際に交流する機会を設定した。(真正な学びの設定)
- 学習を自己調整する力を高めるために、目標到達に向けて「いつまでに」、「何をどうするか」などを自己決定する場面を多く設定した。
- 知識・技能の定着を促進するために、既習内容を想起させたり、既習事項の効果的な活用に対する価値付けを行ったりした。

今までの授業では…

先生: *Today, you will introduce Japanese culture in 5 sentences in English.* (今日は、日本文化を5文で紹介しましょう)

生徒A: *Why? (なんで?) Just play the game as usual and it's over!* (いつものようにゲームして終わればいいじゃん!)

学習課題

今までに学んだことを使って、日本文化について5文以上で発表しよう。

どんな英語で話せばいいの?

準備したいけど…

できるはずない!

誰に、なんで?



学習者主体で授業をデザインすると!

【学習課題】

来月本校を訪れる台湾の生徒と、事前のオンライン交流をすることになりました。台湾の生徒は日本文化について、ある程度の情報はもっているようですが、詳しいことや私たちの町についてはあまり知らないようです。(目的・場面・状況の設定)

発表は4人グループで行います。発表の内容や仕方は自分たちで決めてください。

導入の場面で…

What do they want to know? Let's think and talk about it in your groups.



自ら問いを発見する。

台湾では日本のポップカルチャーが人気らしいから、それについて詳しく紹介しよう。どんな内容にして、どんな表現を使えばうまく伝わるかな。

解決の方法を見通す。

発表はプレゼン形式にしよう。写真は僕が集めるよ。自分で経験したことも入れたら自分たちのことも知ってもらえるね。そういえば、教科書の本文に使える文があったよ! 来週の発表に向けて今週中に原稿を仕上げよう。

課題解決の過程で…

先生、交流は楽しみですが、うまく発表できるか自信がないです。



No problem, you can get advice from your friends, ALT and me. Please ask any time. You can use your tablets to get some help too.

大丈夫、友達やALT、私からアドバイスをもらえます。タブレットを使ってもいいですよ。(指導の個別化)

試行錯誤を繰り返す。協働する。

比較表現を使って英文を作ることはできたけど、一緒に練習した友達は“If you like to watch sports,…”という英文を使っていたぞ。接続詞ifや不定詞も使えるんだな。他の友達とも練習し合って、いろんなアイデアを参考にしていこう。

単元終末の場面で…



児童が自らの学びを振り返り、次に生かす。

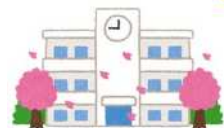
台湾の生徒が自分の発表に頷いてくれている! 驚いている様子もあったな。新しい情報を伝えられたかも! 相手の使う言葉に比較表現があって、内容を理解できた! もっといろんなことを英語で伝えたり、理解したりしたい!

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

薩摩川内市
教育委員会

中学校1年
英語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

中学校生活の楽しさを伝えるために必要な語彙や表現を用いて、適切に伝えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

中学校入学に不安を感じている6年生に対し、中学校生活への期待が高まるよう、伝える内容や表現を工夫して学校を紹介することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

聞き手の立場や自分の経験を基に内容を選び、表現しようとする。

○ 工夫した点

- 生徒指導の実践上の4つの視点を踏まえた授業づくりを行う。
- 生徒が目的意識や相手意識を高めながら、紹介する内容や方法を主体的に考える活動を設定する。
- 共有の場面では、生徒が互いの作品の良さに着目しながら、「楽しさ」や「伝わりやすさ」を視点に自分の作品を見直し、練り直すようにする。

今までの授業では…

【学習課題】

英語で学校を紹介しましょう。



次の内容について
紹介します。

【学校紹介の内容】

- ・ 生徒数、教員数
- ・ 創立〇年
- ・ 部活動
- ・ 主な学校行事

限られた内容で、全員がほぼ同じ
紹介文を作成している。

個に応じた
見通しの支援



個での試行錯誤
や協働の選択



解決した課題
の共有



振り返り

学習者主体で授業をデザインすると！

子供が自ら
問いを発見する

先生：Let's look at this graph.

(中学校入学への期待と不安に関するアンケート結果提示)

生徒A：6年生に中学校の楽しさを伝えたら、もっと安心できるのかな。

子供が解決の方法を選択する。【自己決定の場】

生徒A：先生たちのことが分からないと不安だったから、動画を撮って名前や得意なこととか紹介するのはどうかな。

生徒B：いいね。私は、勉強のことが気になっている6年生が多いから、授業の様子が分かるように伝えようと思う。

生徒C：そうだね。部活や学校行事を楽しみにしているみたいだから、詳しい内容が伝わるように紹介したいな。

先生：タブレットで動画を撮ると、共有もしやすいですね。

【学習課題】

中学校生活の楽しさが伝わる動画にするには、どんな工夫をすればよいだろうか。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返し、協働する【共感的人間関係】

生徒A：「得意なこと」って、どう言えばいいのかな？

生徒B：6年で習ったHe can~, She can ~.を使うのはどう？

生徒A：なるほど。You canとか We canとか、いろいろ使えるね。

生徒C：We canを使うと、「一緒に！」っていう感じで楽しいね！

子供同士の考えをつなぐ。【教師のファシリテーターとしての役割】

先生：動画をロイロノートで提出しましょう。

お互いの学校紹介の動画を観て、工夫している点を見つけ、より良くなるように練り直してみよう。

生徒B：Dさんの動画は、6年生への質問が入っていて、いいね。

生徒C：うん、最初にあいさつや呼びかけがあると、親しみがわくね。

子供が自らの学びを振り返る。【自己存在感】

生徒A：友達とクイズ形式で考えたら、楽しい動画ができたよ！

生徒B：6年生の頃を想像したら、いろんなヒントが浮かんだよ！

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

長島町
教育委員会

中学校2年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

補助線を引いたり，図形の性質を利用したりして，角の大きさを求めることができる。

【思考力，判断力，表現力等】

角の大きさの求め方を，補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。

○ 工夫した点

- 自力追究がしやすくなるように，既習事項を掲示するとともに，ICT機器に既習事項を残すようにした。また，グループ活動を活性化させるために，友達同士で協働学習がしやすい座席配置を行った。
- 導入や展開場面での説明を減らし，必要な活動に時間をかけられるようにするとともに，ICT機器を活用して時間を削減し，振り返りの時間10分を生み出すようにして，確かめ・見届けができるようにした。

今までの授業では…

【学習課題】

星形五角形の先端部分の5つの角の和は，何度になるだろうか。



先 生：星形五角形の先端の5つの角の和は，何度になると思いますか。

生徒A：360° になると思います。

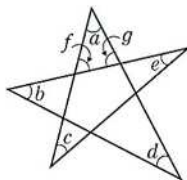
生徒B：180° くらいだと思います。

先 生：それでは，次の考え方を見て，既習事項をもとに説明を考えてみましょう。

$$\angle c + \angle e = \angle f, \quad \angle b + \angle d = \angle g$$

したがって，

$$\begin{aligned} & \angle a + (\angle c + \angle e) + (\angle b + \angle d) \\ &= \angle a + \angle f + \angle g \\ &= 180^\circ \end{aligned}$$



学習者主体で授業をデザインすると！

先 生：星の形ってどんな形を思い浮かべるかな。空書きしてみよう。星の先端の角度を全部たしたら何度になるかな。

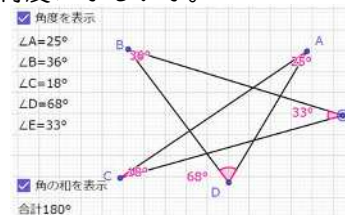
生徒A：360° になると思います。

生徒B：180° になると思います。

先 生：それでは，**今からタブレットで操作しながら，何度になるか考えてみよう。**

生徒A：どんなに形を動かしても180°になるよ。

生徒B：何で180° になるんだろう。



子供が自ら
問いを発見
する

【学習問題】

星形五角形の先端部分の5つの角の和が180° になることは，どのように説明すればいいだろうか。



個に応じた 見通しの支援

先 生：「どんな方法で」「どんな考え方で」説明したらいいかな。

生徒A：今まで習った「図形の性質」を使えばいいと思います。

先 生：「**図形の性質**」をロイロノートに送ってあるので，参考にして考えてみましょう。

子供が解決
の方法を見
通す

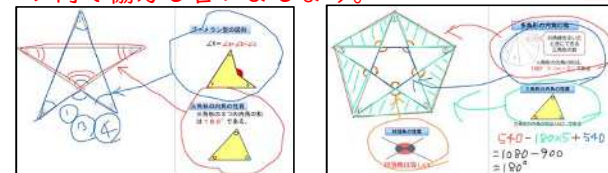
個での試行錯誤

先 生：ロイロノートに書き込んで考えてみましょう。説明のために使った「**図形の性質**」カードを説明のカードの中に入れて込んだり，色分けして分かりやすくしたりして工夫しましょう。

子供が課題
解決まで試行
錯誤を繰り返
す，協働する

グループ内での 試行錯誤や 協働の選択

先 生：グループ内で困っている人がいたら，グループ内で協力しましょう。



個での振り返り

先 生：今日のまとめを，自分の言葉でまとめてみましょう。

振り返りをします。振り返りのポイントを参考に，文章で振り返りましょう。

子供が自らの
学びを振り返
り，次に生かす

振り返りのポイント

- 分かったこと
- 考えたこと
- 友達の見解でいいと思ったところ
- もっと深めたいこと

先 生：学習したことを確認する問題を送ります。3問のうち，自分が取り組みたい問題を選んでチャレンジしてみましょう。(補充・発展)

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

霧島市
教育委員会

中学校2年
保健体育



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

○ 工夫した点

- 生徒の意欲を引き出す導入の工夫や生徒の言葉を基に行うまとめの時間を設定する。
- 学校独自の運動事例集を活用したり、実生活の中でも取り入れられるような道具を活用したりすることで、全ての生徒が具体的な活動イメージをもって意欲的に学習に取り組めるようにする。
- 体力テストの結果や長期休みに取り組んだ運動計画を振り返らせ、自己の体力の課題を考え、課題の克服に向けた運動プログラムづくりに取り組ませる。
- 各自が運動の強度ごとにグループを選択し、仲間の運動プログラムへのアドバイスや話し合い活動の時間を取り入れる。

「アスリートモリモリ」コース
「運動大好きワクワク」コース
「健康第一ニコニコ」コース

今までの授業では…

【学習目標】体力を高めるためのプログラムを考えよう。

導入 先生：今日は力強い動きを高める運動をします。
馬跳びと腹筋と腕立て伏せを数えながらやってみよう！
生徒：はい！いち！に！さん！（数えながら馬跳び）

展開 先生：この方法で腕立て伏せをしたあとに、脈拍が高くなりすぎているから、あなたには合っていないね。ひざをつけて腕立て伏せみたら？
生徒：はい！（Bの運動）
先生：もっと運動の効果を高めるために、声を出して回数を数えよう！
生徒：はい…。いち、にい、さん…。

学習者主体で授業をデザインすると！

導入：めあての設定

先生：前回は、自分の体力に合った運動プログラムを考えましたね。

生徒A：今日は、その運動プログラムをグループで実際に取り組んでみたいんです。

生徒B：1人はタブレットで動画を撮ったらいいと思います。

生徒C：運動後の脈拍も測って、自分に合っているか考えよう！

子供が自ら問いを発見する

【学習課題】

目的に合った体力を高めるためには、どのようなプログラムを作成すればよいだろうか。

子供が解決の方法を見通す



プログラム1回目実施後：生徒のみで話し合い活動

生徒A：みんな、よく頑張ったね！運動の種類はどうだった？

生徒C：種類はいいと思うけど、脈拍が速くないし、効果があまりないんじゃない？

生徒B：そうだね。運動の順番を工夫したらどうかな。

生徒D：①の運動は易しいから、難しい②を先にして、心拍数を上げてみよう！

プログラム2回目実施後：教師が聞きながら話し合い活動

生徒D：今回はどうだった？ちょっときつかったね。

先生：どうして①と②の順番を入れ替えたのかな？

生徒B：先に心拍数を上げようと思ったからです。

生徒D：順番はよかったと思うけど、②を変えた方がいいかな。

生徒C：どの運動がいいかな。②より少し易しめがいいね。

先生：タブレットの運動事例集も参考にしてみるといいかもね。

生徒A：よし！次の時間は②を③に変えてみよう！



子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

終末：タブレットを使って振り返りを記入し、ロイロノートで共有する。

先生：ほかの人の振り返りも参考になりますよ。

生徒A：Eさんは、運動の回数や運動の強度を工夫しているね。

生徒C：次の時間、挑戦できることが増えそうだ。とても楽しみだね！

子供が自らの学びを振り返り、共有し、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

始良市
教育委員会

中学校2年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

事象の中にある数量やその関係に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

与えられた情報を取捨選択し、具体的な事象の考察を通して、連立二元一次方程式を活用して解を求め、解決過程を表現することができる。

○ 工夫した点

- 与えられた情報を整理して、必要な情報を取捨選択して考える力を育成するために、様々な情報の中から課題解決に必要な数量や数量関係を見出す学習課題とした。
- 自力解決の場面でもった自分なりの見通しや解決方法を他者と共有し、意見交換をしたり、互いの考えを練り合ったりする場を設けた。他者との意見交流の際には、グループを限定せずに自由に席を移動させることにより協働しやすい環境をつくった。

今までの授業では…

【学習課題】

1 kgあたり2,500円の牛肉と、1 kgあたり2,000円の豚肉が合わせて5 kg売れ、売り上げの合計は48,000円でした。

それぞれ何kgずつ売れたか求めなさい。

- 先生：今日は売れた牛肉と豚肉の量をそれぞれ求めます。どのようにしたら求められると思いますか。
- 生徒A：牛肉の量と豚肉の量を文字で表して連立方程式で求めればよい。
- 先生：そうですね。それでは、連立方程式で求めてみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

牛肉・豚肉・鶏肉の3種類を販売するお店で職場体験活動を行った。店長より「昨日は牛肉と豚肉はそれぞれ何kg売れたのか。」と質問があった。次の【昨日の状況】の会話をもとにして考え、説明しなさい。

【昨日の状況】

店長：昨日の牛肉・豚肉・鶏肉の売り上げ状況はどうだったの？

従業員：販売した牛肉と豚肉のラベルはこの通りです。

従業員：鶏肉は100gあたり140円で販売して、鶏肉の販売量は5kgでした。また、牛肉・豚肉・鶏肉の3種類の販売量の合計は25kgで、売り上げの合計金額は、53,000円でした。

店長：ということは・・・牛肉と豚肉はそれぞれ何kgずつ売れたのかな？

従業員：えーっと・・・???



先生：どのようにしたら販売量を求められると思いますか。

生徒A：連立方程式を使えば求められそうだけど、たくさん数量があるからどれを使えばいいかわからない…。

生徒B：式をつくるときに必要な数量を見つけるにはどうすればいいかな。これまでに学習したことは使えないかな。

子供が自ら問いを発見する

先生：なかなか見通しがもてない人は、ロイロノートの「資料箱」のヒントカードやこれまでの学習内容も参考に見てね。

子供が解決の方法を見通す

先生：求めることができた人は、ロイロノートの「提出箱」に提出してください。うまくいかない場合は、ほかの人の考えを参考にしたり、質問したりしてもいいですよ。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

先生：牛肉と豚肉の販売量を求めることができた人は、チャレンジ問題にも取り組んでみましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

先生：今日の学習を振り返り、学んだこと、次に生かしたいこと、もっと調べてみたいことなどをまとめましょう。 (ロイロノートで振り返りを提出させ、学びの可視化とともに蓄積を図る。)

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

鹿屋市
教育委員会

中学校3年
外国語



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

ALTに鹿屋市の魅力について分かりやすく紹介するために、※「かのや風土記」に記載されている内容を活用し、他者意識をもちながら、自分の考えや気持ちを適切に付け加えて伝えることができる。

※ かのや風土記：<https://www.city.kanoya.lg.jp/bunsin/hudoki.html>



○ 本市の学習者主体の授業の視点

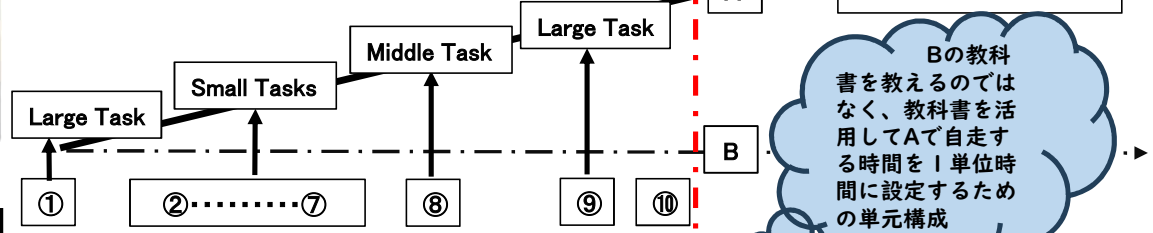
- 「学びに向かう力、人間性等」における、「主体的に学習に取り組む態度（評定）」「感性、思いやりなど（個人内評価）」の中でも、前者に具体的手立てを講じ、一体的に育まれる思考力、判断力、表現力等の育成を促進する。
- 「主体的に学習に取り組む態度」における「粘り強い取組を行おうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面（自己調整）」に手立ての重点を置く。
- 学習を調整する3つの視点「自己調整学習」

コンテンツの視点： 普段の授業での「振り返り」を生かし、**既習事項（小中一貫）を関連付けて**、より深い理解やよりよい考えにつなげられるようにする視点

リソースの視点： 多様で異質なものを考えを組み合わせたり、補完したりして、協働してどのような課題にも努力し続け、**他者と関わりながら学びを深められるように**、学習の計画や環境を整え管理できるようにする視点（※ 他者は「ひと・こと・もの」を含む。）

プロセスの視点： 目的や目標に対する解決の見通しをもって、**必要に応じて試行錯誤しながら学習を進め、自己の学習を俯瞰する視点**
※ 普段の授業内での「振り返り」に加え、**主体的に学習に取り組む態度を評価するための「振り返り（記述・ライブコーディング）」の単元末への位置付け**

コンテンツの視点を取り入れた実践例 (小・中共通：単元構成)



- A 自己課題設定に基づく学習者主体の学び（自由進度）
 B 教科書題材等からの学び（自己課題解決に役立つ言語材料や表現等）
 ① 実際に⑨に挑戦し、理想と現状を阻む問題から、自己課題を見出す（単元の見通し）
 ②～⑦ 教科書題材の中にある言語材料や様々な表現に気付き、自己課題の解決に活用させる。
 ⑧ 単元内だけでなく、小中の既習事項を想起させ表現の幅を広げさせる。
 ⑨ 話すこと（発表・やり取り）を中心とした表現（目的・場面・状況等の明確な言語活動）
 ※ ALTインタビュー、タブレットライブコーディング、台湾とのオンライン等
 ⑩ 単元テスト、⑨の内容と関連のある書くことテスト、振り返り作文
 ※ 振り返り ○コンテンツの視点、リソースの視点、プロセスの視点が記載される項目
 ◎言語活動で工夫したこと「自己調整」は特に意識して書かせる。
 ※ 評価規準Bライン（条件）とAライン（条件プラスαの教科部内での共通理解）
 C 学校での学びを鹿屋市主催のグローバル教育推進事業や英語弁論大会と接続
 ※ 学校での学びを生かして、英語を活用する場面と繋ぐカリキュラム・マネジメント

リソースの視点を取り入れた実践例（小・中共通：中間指導と内容理解）

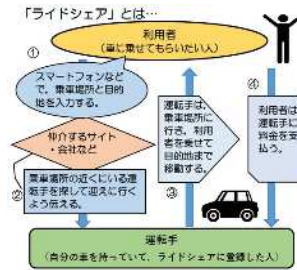
- A 言語活動中に適切なリソースの視点を取り入れ、活動の促進を図る。
 かのや風土記活用（慣れ親しんだ題材をスキーマにし、調べ学習「ICT活用」が不要）
 自分の考えや気持ちを取り入れた言語活動がしやすい。
 難解な表現「古墳」などを、ALTの文化的背景（他者意識）をもたせながら、「ピラミッドのようなもの」といった表現の多様性が見られる。
 B 言語活動を促進させる中間指導の設定（自走中でも意図的に時間をとる）
 モデル（児童・生徒・教師）提示、タブレットによるヒントカード配布
 ※ ポイントは、学習者に気付かせる指導
 B 教科書本文の内容理解
 事実発問：本文中に答えがある。 推論発問：本文を根拠として答えを導く。
 評価発問：言語活動に繋がる、各児童生徒の考えや気持ちを引き出す。
 ※ タブレットでヒント（※写真参照）とともに送付することで、相互理解を深めている。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

垂水市
教育委員会

中学校3年
社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

行政権の役割が拡大したことについて、具体的な事例を通して理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

日本で全面的にライドシェアが解禁されるべきか、他国で認められている理由や解禁されたことで起こりうる問題について考え表現することができる。

○ 工夫した点

- 日本での規制緩和の事例から、その理由を資料や教科書、タブレット等から調べ、どこまで規制が緩和されるべきか考えさせる。
- ライドシェアの事例を取り上げ、他国で流行しているライドシェアが日本でも解禁されるべきか、根拠資料を基に自分の考えを作成し、議論させる。

今までの授業では…

【学習課題】

行政の役割はどのように変化してきたのだろうか。

先 生：政府の役割が広がるにつれ、行政の仕事も増えました。行政の役割はどのように変化してきたのでしょうか。

生徒A：政府の役割が広がっています。

先 生：「縦割り行政」や財政など多くの問題が発生します。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

規制緩和はどこまで認められるべきだろうか。

先 生：資料は行政改革関連年表です。何か気付いたことはありませんか。

生徒A：制度の廃止や、民営化などルールが緩くなっています。

先 生：そうですね。規則が緩んでいることを規制緩和といいます。今日はどのようなことを学習したいですか。

生徒B：なぜ規制緩和が進んでいるのでしょうか。

生徒C：ルールが緩くなりすぎではいけないし。規制緩和はどこまで認められるべきでしょうか。

子どもが自ら問いを発見する

先 生：では、教科書やロイロノートの資料、タブレット等何を使ってもいいですから調べてみましょう。

先 生：最近、日本でもライドシェアが解禁される地域が広がっているとのニュースをよく見ますね。なぜ、日本では全面的に解禁されていないのでしょうか。

子どもが解決方法を見通す

生徒A：アメリカでは流行しているみたいです。

生徒B：知らない人の車には怖くて乗れないよね。

生徒C：数年前白タクも問題になったよね。

先 生：日本でも全面的にライドシェアが解禁されるべきという考えがあります。是か非か。自分の考えを根拠を基に主張してください。

生徒D：私は解禁されるべきだと思います。日本に来日する外国人も増えているし、需要は大きくなっているからです。トラブルも自己責任でいいのではないのでしょうか。

生徒E：私は解禁しない方が良くと思います。やはり犯罪の恐れがあり、交通機関の経営が厳しくなる可能性も否めないからです。

先 生：それでは、ほかの人の考えを聞いてもう一度自分の考えを練り直してみましよう。

先 生：今日の学習を振り返り、学んだことやもっと調べてみたいことをまとめておきましょう。

子どもが自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

東串良町
教育委員会

中学校3年
音楽科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

○ 工夫した点

- 教師が指定したロイロノートのシンキングツールを使うのではなく、生徒たちに選択させる。
- グループ活動では、役割分担を行い全員に役割を与えることで、全員参加型の主体的な活動を取り入れる。
- 振り返りでは、4つの観点のうち1つ以上記入し、40字以上60字以内で書くように文字数を指定し、メタ認知力や書く力を付ける。

今までの授業では…

【学習目標】 世界の諸民族の音楽を鑑賞しよう。

先生：今日は「世界の諸民族の音楽」を鑑賞します。世界には、いろいろな音楽があります。○○の○○という楽器があります。皆さんの知っているどんな楽器に似ていますか。

生徒：リコーダーに似ていると思います。

先生：そうですね。それでは、聴いて感想を書きましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【本時の学習目標】
世界の楽器と日本の楽器の共通点と相違点を見つけてまとめよう。

子供が自ら問いを発見する

先生：この写真を見てください。世界各地には、さまざまな楽器が存在します。

生徒A：知らない楽器がたくさんあります。

生徒B：おもしろそうな楽器だな。○○っていう楽器なんだな。

先生：では、写真を見て、何か気付くことはありませんか。

生徒A：ギターや太鼓に似ている楽器があります。

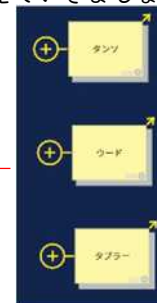
先生：今日は、世界の楽器と日本の楽器の共通点と相違点について考えていきましょう。

〔個〕
見通しの支援

先生：みんなで鑑賞をして、ワークシートに記入しましょう。楽器の構造や音色、奏法などを比較して鑑賞しましょう。

先生：どんな音楽の特徴がありましたか。この後、ロイロノートの音源カードなどを活用してもいいです。

子供が解決の方法を見通す



〔グループ〕
試行錯誤や協働の選択

先生：グループごとに担当する楽器を伝えます。シンキングツールは、まとめやすいものをグループでそれぞれ選んでください。

生徒A：○○の楽器は、穴の数が○つで、△△な感じがしたよ。

生徒B：穴の数は○○の楽器と一緒にだね。私は、○○のところは、△△な感じがしたよ。

生徒C：では、もう一度繰り返し聴いてみようよ。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

〔全体〕
共有

先生：（グループごとに提出されたカードを集約し、ICTで可視化し、生徒と共有してから）○班発表をお願いします。

生徒A：世界でどんな風に楽器がつけられているのか、国や地域ごとの違いについてもっと知りたいと思いました。

生徒B：世界の伝統的な楽器には、日本の伝統的な楽器と似たものも多くて、古くからつながっているのかなと思った。

生徒C：世界にはさまざまな音楽や楽器があり、それらはその地域の暮らしや文化に基づいてつくられているということが分かった。

生徒D：世界にはいろいろな楽器があふれていて一つ一つに個性があって、これが多様性なんだなと思った。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

肝付町
教育委員会

中学校1年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力, 判断力, 表現力等】

震源からの距離と初期微動継続時間との関係性について説明することができる。

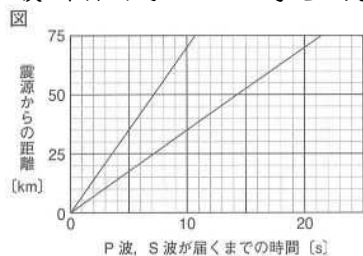
○ 工夫した点

- 実験装置から、生徒自身が気付いたことや疑問に感じたことを、本時の学習課題に設定する。
- 事前に具体的な評価規準の作成や課題を解決することが困難な生徒への手立て(ヒント動画等の作成)を考えておくことで、より効果的な支援を行う。
- 本時の活動の振り返りを行う場面で、生徒自身が新たな疑問をもち、次時の学習に生かすよう働き掛ける。

今までの授業では…

【学習課題】

地震の波と伝わり方について考えよう。



先 生: この図は、ある場所で発生した地震の震源からの距離とP波, S波が届くまでの時間との関係をグラフで表したものです。2つのグラフはP波, S波のいずれかを示しています。図を見てどのようなことに気付きますか。

生徒A: P波とS波の伝わる速さに違いがあると思います。

先 生: そうですね。Aさん、いいところに気付きましたね。この図から他にもわかることがありますよ。まずは、個人で考えてみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると!

【学習課題】

震源からの距離と初期微動継続時間にはどのような関係があるのだろうか。



先 生: この実験装置を動かしてみて気付いたことはありませんか。

生徒A: P波の後にS波が伝わっていました。

生徒B: P波が伝わってからS波が伝わるまでの時間を初期微動継続時間っていうんですね。

先 生: そのとおりです。さすがBさん。よく覚えていましたね。では、何か疑問に感じたことはないですか。

生徒C: 震源からの距離が遠くなると初期微動継続時間がどうなるのか気になりました。

先 生: それでは、どうしたらその疑問が解決できますか。

生徒が自ら問いを発見する

【個→グループ】

試行錯誤や協働の選択

先 生: 実験結果から震源からの距離と初期微動継続時間にはどのような関係があるか考えてみましょう。考えがまとまらない人は、ロイロノートの「資料箱」のヒント動画や他の人の考えを参考に見てみましょう。



生徒が課題解決まで試行錯誤を繰り返す, 協働する

【グループ】

解決した課題の共有

先 生: 各自、考察をロイロノートに書いて提出してください。(ICTを活用し、電子黒板上で生徒の考察の共有を行う)

生徒が本時の学びを振り返り, 次時の授業に生かす

【個】

振り返り及び新たな疑問

生徒C: 震源からの距離が遠くなればなるほど、初期微動継続時間が長くなるのが分かりました。今度は地震がどのようなところで起こるか気になりました。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

屋久島町
教育委員会

中学校1年
国語



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

「読むこと」において、描写をもとに場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、捉えることができる。

○ 工夫した点

- 学習課題に生徒が身に付けるべき資質・能力、必要な思考方法、言語活動を入れて設定することで、生徒が学びを見通せるようにした。
- 新聞記事等を言語活動に取り入れ実の場に結び付くようにした。
- 授業の初めに読みの視点＝評価の視点を示すことで、生徒が学びの位置を確認し、次の課題を見出せるようにした。

今までの授業では…

【学習課題】

竹取物語の内容を理解しよう

古典学習においては、訓詁注釈に偏った授業が多いと思われる。

先生：古文の部分を、現代語訳してみよう。いと」とはどのような意味ですか？

生徒A：「いと」は「とても」という意味です。

生徒が自分の問いと学びを振り返り、次に活かす

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】この単元では、「竹取物語」を読んで、登場人物の心情の変化を捉える学習をします。課題は、古文中に表現された行動描写やセリフから心情を推察し、随想「○○の気持ち」を書くことです。

生徒が問いを立てるポイントを見付ける

先生：私が作成したモデルを分析してみましょう。どんなことを書いたら良さそうですか？

生徒A：ん～一段落目は、出来事の前に気持ちかな？

生徒B：二段落目は…？出来事後の気持ちだ。

生徒A：でも「」もあるよ。これは何かな？

先生：「」は古文中の言葉だね。これを引用とします。文中の言葉を根拠にするといいですよ。今回の単元での学習は心情の変化を学習するね。変化を捉えるには、出来事に着目して、その前と後の心情を読み取る必要があります。じゃあ、これを読み目の視点にしましょう。そして、評価の視点にもなります。

このことを踏まえて、《私の問い》を立ててみましょう。

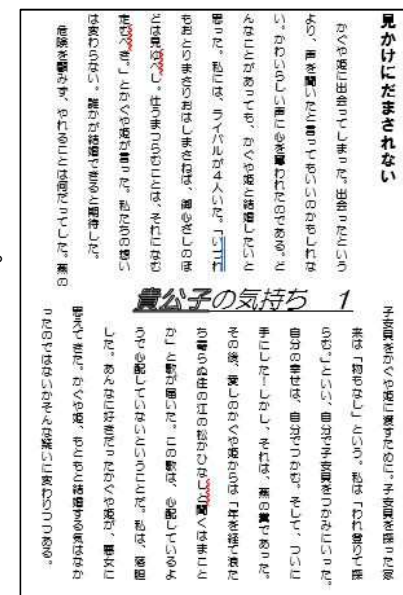
生徒A：翁は、なぜ「何しに、悲しき見送り奉らむ。」と言ったのだろうか？

生徒B：この言葉に着目すると、翁がかぐや姫との別れに悲しみを感じてはいるよね。

生徒A：確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。

生徒B：そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。

先生：今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。



【三つの読み（評価）の視点】

- ① 古文中の引用
- ② 出来事前の心情
- ③ 出来事後の心情

《私の問い》を個人やペアで解決している

問い	振り返る視点	できたこと	できなかったこと	次に解決したいこと
「いと」とはどのような意味ですか？	「いと」とは「とても」という意味です。	「いと」とは「とても」という意味です。	「いと」とは「とても」という意味です。	「いと」とは「とても」という意味です。
翁は、なぜ「何しに、悲しき見送り奉らむ。」と言ったのだろうか？	この言葉に着目すると、翁がかぐや姫との別れに悲しみを感じてはいるよね。	この言葉に着目すると、翁がかぐや姫との別れに悲しみを感じてはいるよね。	この言葉に着目すると、翁がかぐや姫との別れに悲しみを感じてはいるよね。	この言葉に着目すると、翁がかぐや姫との別れに悲しみを感じてはいるよね。
確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。	確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。	確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。	確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。	確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。
そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。	そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。	そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。	そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。	そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。
今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。	今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。	今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。	今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。	今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

奄美市
教育委員会

中学校2年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

実験の結果を踏まえて、酸化銅から銅ができたことを説明することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

これまで習得した知識を用いて、酸化銅を還元する物質として何が有効であるかモデルを用いて考えようとする。

工夫した点

- 課題意識を高め、課題追究の見直しをもてるために、既習事項を用いて思考できるように単元の指導計画をマネジメントする。本時では、前時に、二酸化炭素とマグネシウムを用いた「還元」の学習を位置付ける。
- 既習事項と自然界の鉱石から金属を取り出すこととを関連付けられる事象提示を行う。
- 生徒の考えを生かした主体的な探究とするために、実験の目的を明確にした上で、既習の知識を用いて、酸化銅を還元する方法について企画する場合や、その方法にした根拠を説明する活動を取り入れる。

今までの授業では…

【学習課題】

- ・ 酸化銅に炭素を入れて熱したら、どうなるだろうか。
- ・ 酸化銅に炭素を入れて、還元してみよう。

教師：酸素と銅が結び付いた物質を酸化銅と言ったよね。今日は、反対に、酸化銅から酸素を取りのぞいてみましょう。

生徒A：どうするのか。

教師：炭素を入れて熱したとき、酸素が取り除かれるか確かめましょう。

生徒B：炭素で酸化銅を還元する実験をするんだな。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

酸化銅を還元するには、どうしたらよいだろうか。



教師：(写真と化学式を提示しながら)自然界の岩石に酸化物が入っているけど、何か気付くことはありませんか。

生徒A：銅やアルミニウム、鉄の化学式があるね。

生徒B：全部、酸素が入っているよ。

教師：酸化物のままでは、金属として使えないけどどうしたらいいでしょうか。

生徒B：金属だけ、取り出すといい。

生徒C：酸素を取り除いたら金属だけ残るんじゃないかな。

生徒A：前時で学習した還元を考えようだよ。

子供が自ら問いを発見する

子供が解決の方法を見通す

子供たちが(既習の知識を用いて)協働する

教師：酸化銅を還元するには、何と結び付けたらいいのか、考えてみましょう。

化学反応式やモデルを使いながら考えてもいいですよ。

生徒A：銅より酸化しやすいものとくっつけるといいかもね。

生徒C：炭素と結び付けてもいいと思うよ。

生徒B：私たちの班は、水素でもいいと考えたよ。

教師：どうして、そう考えたの？

生徒F：銅より酸素とくっつきやすいから。

子供が解決の方法を見通す

教師：炭素と水素、それぞれを酸化銅と熱したらどうなりそうですか。

生徒A：炭素は銅と二酸化炭素ができて、水素は銅と水ができるよ。

教師：銅になったと言えるには、どうなればいいのか。

生徒C：色が変わる。こすると光沢も出る。

教師：では、自分たちで考えたことを確かめてみましょう。

子供が(明確な見直しをもって)試行錯誤を繰り返す

生徒A：黒色の物質が茶色になったことから銅ができたと考えられるね。

生徒B：試験管内に液体が発生したことから水ができたと考えられるね。

教師：事実から考えることができましたね。自分たちの結果の見直しと比べてどうでしたか。

生徒C：自分たちで予想した結果の見直しを同じになりました。

教師：それでは、自分の学びについて、分かったことや役に立った考えなどを振り返ってみましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

宇検村
教育委員会

中学校1年
社会科(地理)



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

熱帯地域の生活が外国の生活様式や観光開発によって変化していることを理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

熱帯地域の雨温図や分布図、衣食住の写真を読み取り、熱帯の気候の特色を理解するとともに、生活の特色を考察し、表現することができる。

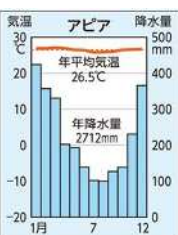
○ 工夫した点

- ① 予習を取り入れ、疑問点や分からないことを明確にして授業に臨ませる。
- ② 「地理的な見方・考え方シート」を使用して、学習課題を生徒自身に設定させる。
- ③ 思考ツールを使い、熱帯地域の生活の特色を衣食住の観点で自分でまとめさせる。ロイロノートの共有ノートを用いて学習状況を把握し、必要に応じて支援する。
- ④ 単元シートを活用し、単元全体や1単位時間の学びを生徒自身に振り返らせる。

今までの授業では…

【学習課題】

熱帯地域の生活にはどのような特色があるだろうか。



出典：新しい社会 地理(東京書籍)

- 先生：今日は熱帯地域について学びます。雨温図からどんな特徴を読み取ることが出来ますか。
- 生徒A：気温が高く、降水量が多いです。
- 先生：そのとおりです。それでは、熱帯地域の生活には、どのような特色があるか、衣・食・住の観点からそれぞれ学習していきましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

熱帯地域の人々はどのような生活をしているのだろうか。また、それはなぜだろうか。
(※生徒自身で設定するため、上記は一例である)

子どもが自ら問いを発見する(工夫①・②)

- 先生：今日は熱帯地域について学習します。予習で疑問点や分からないことがありますか。
- 生徒A：なぜ、いも類が主食なのですか。なぜ、高床の家なのですか。
- 先生：良い疑問ですね。授業で解決できるといいですね。予習や疑問点などを踏まえて今日の学習課題を自分で立ててみましょう。必要に応じて、地理的な見方・考え方シートを参考にしてください。

子どもが自らの学びを振り返り、次に生かす(工夫④)

- 先生：熱帯地域の人々がどのような生活をしているか、衣食住の観点からまとめることができたと思います。自分で立てた学習課題に対するまとめや単元を貫く学習課題につながる内容を単元シートに記入しましょう。
- 生徒A：他の気候帯で生活する人々の生活にはどのような特色があるのだろうか。

☆ 地理的な見方・考え方を働かせた「問い」の考え方 ☆

☆ 自分なりの「問い」を立てられるように「5W1H」を踏まえて考えてみましょう。 ☆

※ 「5W1H」＝「What(いつ)、Where(どこで)、Who(誰が)、What(何事)、Why(なぜ)、How(どのように)」

観点	問い	問いの立て方
① 位置や分布	○ 〇〇は「どこ」にあるのだろうか。 ○ 〇〇の位置は「どのように」表せるのだろうか。 ○ 〇〇は「どのように」広がっているのだろうか。 ○ 〇〇は「なぜ」そのように広がっているのだろうか。 ○ 〇〇は「なぜ」そのように広がっているのだろうか。	○ 〇〇は「いつ」からあるのだろうか。 ○ 〇〇は「なぜ」そこにあるのだろうか。 ○ 〇〇は「どこ」に広がっているのだろうか。 ○ 〇〇は「なぜ」そこに広がっているのだろうか。
② 場所	○ 〇〇(気象・人口・資源など)が多い(少ない)場所は「どのような」特色があるのだろうか。 ○ 〇〇(気象・人口・資源など)が多い(少ない)場所では「どのような」課題や対策をしているのだろうか。 ○ 〇〇(場所)と〇〇(場所)には「どのような」共通点やちがいがあろうか。 ○ 〇〇(場所)は、「なぜ」〇〇(気象・人口・資源など)が多い(少ない)特色があるのだろうか。	○ 〇〇は「なぜ」〇〇(気象・人口・資源など)が多い(少ない)特色があるのだろうか。 ○ 〇〇は「なぜ」〇〇(気象・人口・資源など)が多い(少ない)特色があるのだろうか。
③ 人間と自然の相互関係	○ 〇〇の生活は、自然環境から「どのような」影響を受けているのだろうか。 ○ 〇〇では、環境問題を防ぐために「どのような」対策を行っているのだろうか。 ○ 〇〇では「なぜ」環境保全が行われているのだろうか。	○ 〇〇は「なぜ」〇〇(気象・人口・資源など)と「どのような」結びつきを持っているのだろうか。 ○ 〇〇では、気候の特色によって「どのような」課題や対策を行っているのだろうか。 ○ 〇〇では「なぜ」〇〇(気象・人口・資源など)と「どのような」結びつきを持っているのだろうか。
④ 空間的相互関係	○ 〇〇(国や地域、地域)では、「なぜ」結びつきが保たれている(保たれていない)のだろうか。 ○ 〇〇(国や地域、地域)では、「どのような」特色(地理・気候・自然・産業・伝統文化・人口・交通など)があるのだろうか。 ○ 〇〇(国や地域)と〇〇(国や地域)には「どのような」共通点やちがいがあろうか。 ○ 「なぜ」〇〇(国や地域)ならではの特色(地理・気候・自然・産業・伝統文化・人口・交通など)があるのだろうか。 ○ 〇〇(国や地域)は「なぜ」変化してきたのだろうか。 ○ 〇〇(国や地域)は「どのような」地域にすべきだろうか。	○ 〇〇(国や地域)は「なぜ」変化してきたのだろうか。 ○ 〇〇(国や地域)は「どのような」地域にすべきだろうか。

子どもが課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する(工夫③)

- 生徒A：予習での疑問点を踏まえて「食→住→衣」の順番で調べてまとめよう。(生徒が順番を選択)
- 先生：教科書や資料集以外にも、ロイロノートでWebカード(衣食住に関するwebサイトや動画)を配付しているので、必要に応じて使用してください。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

龍郷町
教育委員会

中学校3年
社会科(公民)



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

現代や未来の社会に見られる人権課題の解決を視野に主体的に関わろうとする。

○ 工夫した点

○ 単元を見通した授業デザイン(学習者主体を意識した単元構成)

単元の導入時に「単元を貫く学習課題」を設定し、単元に応じた学習活動(①課題追究型②自由進度型③課題探究型)を通して、課題解決を図り、単元の終末時に設定した課題についてのまとめを自分の言葉で表現させる。

○ ガイダンスプリントとリフレクションシートの活用

単元の学習の進め方を構造化してまとめたガイダンスプリントや振り返りをスプレッドシートで作成し、タブレットでいつでも確認できるようにすることで、学びのつながりを意識させ、自己調整をしながら課題を追究させる。

今までの授業では…

【学習課題：各時間の目標と振り返り】

- 日本にはどのような差別があり、解決するためにどのような努力がなされてきたのだろう。
- 共生社会を築くために、私たちはどのような取り組みをすべきだろう。
- 自由権は、日本国憲法でどのように保障されているのだろう。
- 社会権とはどのような権利であり、日本国憲法でどのように保障されているのだろう。
- 私たちの人権を保障するために、日本国憲法ではどのような権利が保障されているのだろう。
- 私たちは憲法上、どのような責任と義務を負っているのだろう。

- ・ めあてがすでに決まっているため、生徒がめあてを決めることはできない。
- ・ 学習する内容の順番が決まっているため、生徒がその日に学習したい内容を選択できない。
- ・ 社会的な見方・考え方を示していないため、社会的な見方・考え方を働かせることができない。
- ・ 学習方法の振り返りがなく→学習方法を選択できない、自己調整ができない。

学習者主体で授業(単元)をデザインすると!

【単元を貫く問い】

これから先、基本的人権を守るために、私たちになくてはならないことは何か。

●人権と共生社会に関する単元を貫く問いの設定

学習活動の種類	説明	問い	資料	方法
① 課題追究型	学習課題に対し、教師が提示した資料をもとに読み取ったり、まとめる活動を通して学習課題へ迫る	教師	教師	教師
② 自由進度型	教師が決めた単元の学習内容(ガイダンスプリント)を提示し、1時間のめあて、学ぶ方法や順番、資料収集は生徒自身が決めて学習課題へ迫る	教師・生徒	教師・生徒	生徒
③ 課題探究型	学習課題に対し、自らで問いを立て、自ら資料を収集したり分析したりする活動を通して学習課題へ迫る	生徒	生徒	生徒

ガイダンスプリント

【単元を貫く学習課題】一単元のまとめとしてフォームに入力

これから先、基本的人権を守るために私たちがなくてはならないことは何か。

【学習の流れ】※2→①はどの順番で読んでもよい。学習の進め方をスプレッドシートにまとめる。

学習内容	教科書	資料集	単元	授業時数	シミュレーション
① 日本国憲法では平等権がどのように保障されているのか学習する。			みんな	2	1・3
② 日本国憲法では自由権がどのように保障されているのか調べる。	p.54~55	p.28~29	人権ってなんだ?		1・3
③ 日本国憲法では社会権がどのように保障されているのか調べる。	p.56~57	p.30~31	人権ってなんだ?		1・4
④ 人権を守るための権利とはどのような権利なのか調べる。	p.58~59	p.32~33	人権ってなんだ?		
⑤ 新しい人権とはどのような権利なのか調べる。	p.62~63	p.34~35	人権ってなんだ?		F
⑥ 予備の学習					

⑦ 総則と修訂がきっかけとなった憲法、どうしたらいいの学習する。

みんな

リフレクションシート(デジタル)

必読 必読

学習活動の種類	本単元で働いた見方	本単元で働かせた見方	振り返りの振り返り	
① 課題追究型	効率と公正	比較・分類する	問いのつくりかたが良かったか	A
② 自由進度型	民主主義	関連づける	権限の行使は良かったか	C
③ 課題探究型			新たな方法が良かったか	B

【発展学習】スプレッドシート

これから先日本の社会に必要な人権は何を調べる。その必要性を調べるポスターを作成しよう。友だちと協力して取り組んでもいいよ。作成したポスターはタブレットで提出しよう。

ルーブリック

	評価基準
A	なぜその人権が必要なのか、複数の社会的な見方・考え方に基づいた根拠を明確にしたポスターが作成できている。
B	なぜその人権が必要なのか、社会的な見方・考え方に基づいた根拠を明確にしたポスターが作成できている。
C	Bに達していない。

○ ガイダンスプリントを活用することで

- ・ 学習のめあてを自分で決めることができる。
- ・ 課題解決の方法を自分で選択することができる(活用する資料や思考ツールを選択)。
- ・ ミッションを設定することで、確実に重要事項の習得を図ることができる。
- ・ 単元の学習内容を早く終えた生徒は【発展学習】にチャレンジできる。

○ リフレクションシート(デジタル)を活用することで

- ・ 単元を貫く学習課題を意識できる。
- ・ 自分の立てためあてに対して、どの社会的な見方・考え方を使えば解決できるか、考えることができる。
- ・ 学習方法の振り返りをすることで、自分の学びを調整しながら次回の学習に臨むことができる。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

喜界町
教育委員会

中学校1年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

状態変化によって、質量は変化しないが体積は変化することを理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

状態変化によって、質量は変化しないが体積は変化することを見だし、粒子のモデルを用いて説明することができる。

○ 工夫した点

- 「目標の明確化」では、エタノールを状態変化させる事象提示を見せることによって、状態変化に対しての疑問や調べてみたいこと等を引き出し、生徒に興味・関心をもたせて学習意欲につなげるようにする。
- 「山場の工夫」では、根拠（実験結果）をもとに理由付け（粒子のモデルで可視化）して主張（考察）するために、タブレット端末を活用して効率よく他者と考えを共有できるようにする。
- 「確かめ・見届け」では、学習課題に対応するまとめを自分の言葉で表現する時間や本時の振り返りを行う時間を確保し、学習したことの意義や価値を実感できるようにする。

今までの授業では…

【学習課題】

物質が状態変化するとき、体積や質量は変化するだろうか。

- 先生：今日はエタノールとロウを状態変化させる実験を行います。体積や質量が変化するか考えてみましょう。
- 生徒A：体積は変化しますが、質量は変化しないと思います。
- 先生：では、実験してみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

物質が状態変化するとき、体積や質量はどのようなのだろうか。



子供が解決の方法を見通す

個に応じた見通しの支援

先生：なかなか見通しがもてない人は、物質を冷やして状態変化させた場合と、温めて状態変化させた場合について分けて考えてみましょう。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

個での試行錯誤や協働の選択

先生：実験が終わった班は、実験結果をロイロノートの提出箱に提出してください。考察を書く際は、自分たちの班の結果だけでなく、他の班の結果も参考にしてみるといいですね。

先生：終わっている人もいますね。粒子のモデルを用いて、根拠をもとに理由付けて主張できるように考察を練り直してみてもうでしょう。

解決した課題の共有

先生：考察を班で発表し、意見交換しましょう。意見交換をした後、考えが変わった人は考えの変容を分かりやすくするために赤ペンで書き直しをしてみましょう。

学習内容を定着させるまとめ

先生：学習課題に対する本時のまとめを自分の言葉で書いてみましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

振り返り

先生：今日どのようなことを学びましたか。これからどんなことを学習したいですか。（ICTで振り返りを集約し、可視化して、生徒が相互に共有できるようにする。）

- 生徒A：状態変化によって、質量は変化しないけど体積は変化することを粒子のモデルを用いて説明することができました。
- 生徒B：私は水が氷に状態変化する時、体積が大きくなると小学校で学んだので、今回の授業で説明できない水の状態変化について次は学びたいと思いました。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

徳之島町
教育委員会

中学校1年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

日常生活や社会の事象における問題を、作図を利用して解決することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

身の回りにある問題を解決するために、作図を利用することに関心をもって取り組もうとする。

○ 工夫した点

- 主体的な学びを引き出すために、興味関心を高めさせる学習問題を提示する。
- 解決の見通しをもたせるために、導入段階での既習事項を確認する。
- 他者との対話的な考察を通して、深い学びにつなげる。

今までの授業では…

【学習課題】 45° や 75° の角はどのように作図したらよいだろうか。

先生： 90° の角はどのように作図したらよかったですか？

生徒A：垂線の作図や垂直二等分線を書いたらいいと思います。

先生：それなら 45° はどのように作図しますか？

生徒B： 90° を半分にしたらいいです。

先生：それでは、 45° の角を作図してみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

宝物はどこに隠されているだろうか？

先生：3つの指令が届きました。さて、この指令に従って宝物を探しましょう。

生徒A：指令1の等しい距離は、最初に解いた垂直二等分線だね。

解決の見通し（既習事項の活用）

生徒B：指令2の 75° の角は作ったことないけど… どうしたらいいのかな。

生徒が自ら課題を見付ける。

先生：指令2の 75° の角の作り方が宝探しのポイントだね。それでは、まずはみんなで 75° の作図方法を見つけてみよう。



（本時の学習目標の提示）

【学習目標】 75° の角はどのように作図したらいいだろうか？

個での試行錯誤や
協働の選択

先生：これまで学習してきた作図方法の中で活用できるのではないかな。

先生：うまくいかない場合は、友達のを聞いてみたり、友達と一緒に考えてみるのもいいですね。

生徒が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する。

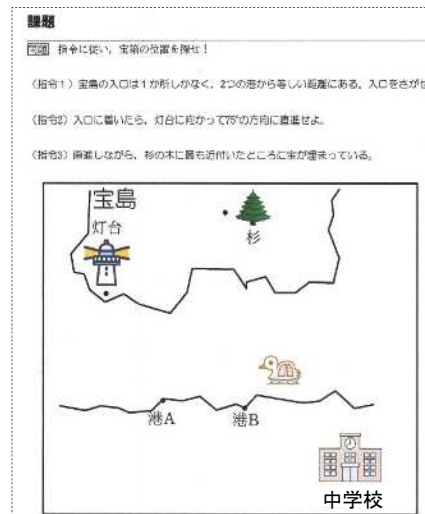
解決した課題共有

先生：（複数生徒の発表） 75° の作図方法もひとつではなく、いろんな方法がありますね。

新たな課題に気づき、自ら取り組む姿

新たな課題発見
（学習意欲）

生徒C：指令3の最も近付くってどういうこと？今度はこの作図方法を考えよう。



(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

和泊町
教育委員会

中学校3年
保健体育



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則など理解し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

体づくり運動の学習に自主的に取り組み、互いに助け合い教え合おうとする。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。話し合いに貢献しようとするなど意欲をもち、健康安全を確保しようとする。

○ 工夫した点

- 生徒一人一人が体力テストの分析結果を基に自己の課題を明確にし、運動の実践につなげていく。
- 自己や仲間の課題を発見し、グループでの活動を通して自己や仲間の考えたことを他者に伝えることや助け合う、話し合う活動を行う。
- 学習した内容を実生活に生かす運動、生涯にわたって豊かなスポーツライフの実現のための「計画」「実行」「継続」につなげていく。

今までの授業では…

【学習課題】 自己の課題に応じた運動計画を作成しよう

- 先生：新体力テストの結果から、自分に合った運動計画を作成します。
 先生：教科書や資料集からトレーニングメニューを見つけましょう。
 生徒A：私は瞬発力が弱いから、下半身のトレーニングが自分に必要だと思います。
 先生：次に、その運動をどのように実施するのか、計画を立てましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【単元の学習課題】

自己や仲間の課題に応じて考えた運動を発表し、実生活に生かす運動計画を立て取り組むためにはどのようなことが大切だろうか。

【本時の学習課題】

自己や学級の課題に応じた運動計画を立てよう。

先生：体力テストの結果から見えてくる、自分や学級の課題は何でしょう。

生徒A：個人的には柔軟性が弱い。
生徒B：全体としては瞬発力に課題があるね。

先生：この課題を解決するために、**授業でやりたいことは何ですか。**
生徒A：自分の課題もですが、全体の課題も解決したいです。

子供が解決の方法を見通す

先生：各グループで考えたトレーニング法を、全体に発表してもらいます。練習や発表の仕方について確認しましょう。

〔個〕
見通しの支援

生徒A：柔軟性を高めるために、こんなトレーニングが紹介されていたけどどうかな。
生徒B：運動が苦手な人には少し難しいかもしれないね。
生徒A：それなら、誰にでもできるように工夫してみよう。

〔グループ〕
試行錯誤や協働の選択

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

先生：全体の発表を聞いてどのようなことを感じましたか。
生徒A：1班のトレーニングは、全体の課題を解決できるようになってとても参考になりました。
生徒B：2班のトレーニングは、全体的に易しかったので、腕立て伏せの腕の幅を拡げるなどの負荷をかけるといいと思いました。

〔全体〕
全体共有

先生：今日の授業を今後につなげて行くにはどのようなことが大切だと思いますか。
生徒A：今日のトレーニング方法を自分に合ったものに改善し、毎日10分のトレーニングを続けていきたいです。
生徒B：家族の課題も見つけて、家族が健康を維持していくためのトレーニングを見つけて実践していきたいです。

〔全体〕
振り返り

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

子供が自ら課題を発見する

【練習、発表の仕方のポイント】

- どのようなことを意識するのか体の動かし方、意識するポイント
- 運動のねらい、目的
- 相手に分かりやすく伝えるためには誰が発表、誰が模範演技する、動きのつなぎ、音楽、手拍子、足踏み、などなど

【課題解決に向けたポイントの提示】

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

与論町
教育委員会

中学校1年
社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

アメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色を、写真や分布図などから読み取ることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

アメリカ合衆国が多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、交通網、農業経営の仕方などの視点から考察し、説明することができる。

○ 工夫した点

- 身近な話題を視覚的に提示し、「アメリカの農業の特徴について調べたい」という意欲をもたせる。
- 気候・交通網・農業経営の仕方の3つの資料のうち一つを選択して読み取らせる。その後、他の資料を読み取った生徒と「資料から分かったこと」を共有させることにより、3人の知識の統合・深化を図る。



今までの授業では…

【学習課題】 アメリカの農業にはどのような特色があるのでしょうか。

特色の一つとして挙げられている「適地適作」とはどういうことでしょうか。資料を基に説明してください。……そうですね。Aさん、ありがとう。

次に、この図と、この写真から分かることを考え、発表してください。……そうですね。Bさんが発表してくれたような農業のことを、「企業的な農業」といい、これも特色の一つです。

生徒に思考・表現させてはいるが、一斉・一律・一方向になってしまっている。



学習者主体で授業をデザインすると！

子供が自ら問いを発見する

生徒A：なぜ、アメリカの農産物はこんなにも安いかな。

生徒B：アメリカから日本への輸送費もかなりかかっているはずなのに、それでも安いのはなぜだろう。

先生：アメリカの農業には、日本の農業とは異なる特色がありそうだね。



【学習課題】 なぜ、アメリカの農産物の価格は安いのだろうか。

子供が解決の方法を見通す

先生：ここに3種類の資料があります。このうち、どれか一つを切り口に、アメリカの農業について、じっくりと調べてみましょう。 GoogleClassroomには、それぞれの関連資料も掲載していますよ。

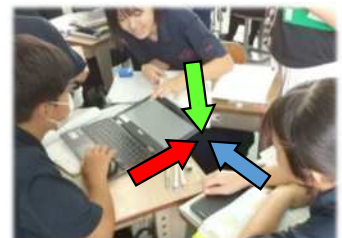


子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

先生：それぞれの資料で分かったことを持ち寄れば、農産物の価格の安さの秘密にたどり着けるでしょう。

生徒B：私の資料では、西側のこの地域に、降水量の多さを生かして広大な畑が作られていることが分かったよ。

生徒C：あ、ぼくの資料を見て。その地域から都市部に向かって何本もの線路が敷かれている。この鉄道を使えば、農作物の大量輸送ができそうだ。



子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

先生：Bさんが今気付いたその特徴は「適地適作」と呼ばれています。本時の学習をまとめる際は、その用語も使うとよいですね。

生徒D：3人の気づきをまとめると、「企業的な農業による適地適作や、大量輸送の仕組みにより、価格を安く抑えることができています」と言えそうだね。

